

ホームページのご案内

株式会社エディオン



<http://www.edion.co.jp>

詳しい会社案内やIR情報は
こちらからどうぞ。

エディオンダイレクト



<http://shop.edion.jp>

最新情報をタイムリーにご覧に
なれます。オンラインショップ
もお楽しみください。

アンケートにご協力ください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施させていただくことといたしました。お手数ではございますが、以下の方法によるアンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード：2730

携帯電話からもアクセスできます。
QRコード読み取り機能のついた携帯電話を
お使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



アンケート実施期間は、本事業報告書がお手元に到着してから、約2ヶ月間（2006年2月10日まで）となりますので、お早めのご回答をお願いいたします。

※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
アンケートに関するお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」
TEL：03-5777-3900 E-MAIL：info@e-kabunushi.com

《ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます》

株式会社 エディオン

〒141-0031 東京都品川区西五反田八丁目9番5号

（本社事務所）

〒464-0841 名古屋市中種区覚王山通八丁目70番地の1
TEL. 052 (759) 2711 (代) FAX. 052 (759) 2719

URL <http://www.edion.co.jp>



この中間事業報告書は、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。



第5期中間事業報告書

2005年4月1日～2005年9月30日

株式会社 エディオン

証券コード：2730

お客様第一主義

- お客様の生活スタイルに合わせ、最高の満足が得られる商品を提案します。
- お客様の思いもなかった新しいよこび、豊かさを提案します。
- 商品販売後も、いつも最適な状態で使い続けていただくためのフォローアップをします。

地域のお客様に密着した事業展開

- トップブランドであることを認識し、支持され続ける店をめざします。
- お客様との長期にわたる信頼関係をつくりあげます。
- どの店舗・地域においても共通した質の高いサービスを提供します。

時代を先取りし続ける創造型企業

- つねに新しいことにチャレンジし、実践できる企業となります。
- 時代の先を読み、新しい価値を提供し続ける「創造力ある企業」をめざします。
- お客様のニーズや時代の変化に対し、即座に応えられる柔軟性を高めます。

エディオングループの概要



Contents

経営理念、エディオングループの概要	1	事業会社の概要	10
株主の皆様へ	2	連結財務諸表	11
特集	3	株式の状況	13
ネットワーク	7	会社の概況	14
営業の概況	9		

エディオンは「サービス型小売業」のさらなる深化で大型家電量販店の大競争時代を勝ち抜きます。



梅原正幸 久保 允孝 岡嶋昇一 友則和寿
取締役副社長 代表取締役社長 取締役副社長 取締役副社長

2005年4月1日に、近畿地方シェアNO.1の(株)ミドリ電化との事業統合を行いました。2005年度は、新生エディオンとしての新たなスタートの年であり、(株)デオデオと(株)エイデンの統合ノウハウを生かして、競争力のある企業グループを確立してまいります。こうした状況のなかで、2005年度上期は、個人消費の回復等により薄型液晶テレビやデジタル音楽プレーヤーなどのデジタル家電が前年の売上を大きく上回り、エアコン、冷蔵庫、洗濯機などの生活関連商品も好調に推移しましたが、パソコンなどの情報関連商品は低位で推移しました。

今後の見通しにつきましては、経済の状況は回復基調にあり、年末商戦に向けても個人消費は活発になるものと予測されます。当家電小売業界においては、2006年にトリノ冬季五輪やドイツでのサッカーワールドカップといったビッグイベントを控えており、薄型テレビなどの需要も増加してくるものと予測されます。

しかしながら、一方では顧客ニーズは多様化し始め、競合他社との業界内のシェア獲得競争がますます激化してくると思われれます。

こうした中でエディオングループは、グループ内でのノウハウの共有や(株)ミドリ電化との仕入統合によるスケール

メリットの追求および経営資源の有効活用など、経営効率を高めて収益力を強化してまいります。経営理念の「お客様第一主義」をさらに徹底し、人材育成による接客力・販売力の強化やオリジナル商品の開発による商品力の強化に取り組むとともに、業務全般を含めた経営の合理化に努め、皆様に安心と満足を提供できる企業となるよう、エディオングループ全社を挙げて推進してゆく所存であります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

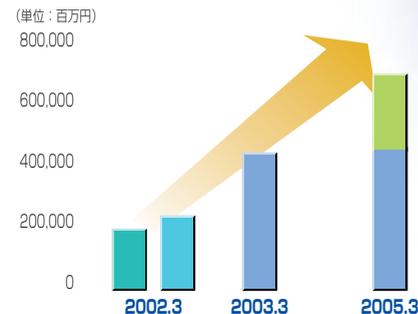
2005年12月

代表取締役社長 久保 允孝

統合による規模の拡大で、さらなる「サービス型小売業」の深化を図ります。

2005年4月1日にエディオンは株式会社ミドリ電化をグループに迎え、日本一の店舗数を誇る大型家電量販グループとなりました。ミドリ電化は近畿エリアを中心に、業界でも珍しい家電と家具の複合店をはじめ、多彩な業態開発に実績とノウハウを持つ西日本最大規模のネットワークの大型小売店です。

この事業統合により、それぞれの基盤エリアでの地域に密着した営業をさらに深化させつつ、オリジナル商品「KuaL(クオル)」の共同開発・販売や、プロパー商品の一括仕入によるコストダウンなどのスケールメリットを追求し、統合効果の最大化に向けて歩を進めています。



売上高の推移 (単位: 百万円) | ■ エディオン ■ デオデオ ■ エディオン ■ ミドリ電化



「買って安心、ずっと満足」「笑顔あふれる まごころ接客」をさらに追求していきます。

付加価値の高い商品

「KuaL(クオル)」はお客様のニーズをもとに、国内家電メーカーと共同で開発されたエディオングループだけのオリジナル商品です。お客様のライフスタイルやニーズに対応した付加機能によりプロパー商品との差別化を図っています。また、エアコン・冷蔵庫(一部商品)への10年間長期保証を適用し、お客様から高いご支持を賜っています。

当上半期中には、NECパーソナルプロダクツと共同で、メーカーによる3年保証のついた個人向けPC「VALUESTAR」「LaVie」のエディオンオリジナルモデル新製品を9月より販売開始しました。

お客様の声をカタチにした高付加価値商品

■商品例「エアコン」

- Check! 汚れやホコリが付きにくいお手入れ簡単な室内機
- Check! オフシーズンも快適キープ自動クリーン運転機能
- Check! カビを寄せ付けない抗菌処理フィルター
- Check! 【その他】
 - 塩害やサビに強い、長持ち室外機
 - お部屋の臭いを素早く除去する、脱臭フィルター
 - 冷え過ぎを防ぐ、双方向感温リモコン など

3つのアクセントカラーで自分の好みを選べるシングル向け商品

電池・管球などの消耗品に特化したデバイス商品

気持ちのよい接客でお買い上げ

エディオングループでは、「サービス型小売業」を高いレベルで具現化し、スタッフの生産性向上による競争力の強化を図るため、新規出店を加速する2005年度を「エディオン教育元年」と位置づけ、人材教育に注力しています。こうした取組を行うことで、商品政策や販促政策の統合により増加するお客様を気持ちのよい接客でお迎えするとともに、業務効率を改善することにより接客時間の確保に努めてまいります。またグループ企業それぞれのノウハウを併せもつ次世代店長候補者を教育し、人事交流を図ることで、グループ全体の出店戦略を人材面で後押ししてまいります。

店長候補者研修の実施

エディオン人材開発部新設

グループウェア統合による業務効率の改善

安心のサービス体制

エディオングループでは、お客様に商品を安心してお買い上げいただくだけでなく、安心して使い続けていただくことが重要と考えています。そのために、配送・工事・修理といったサービス体制の充実を図っております。当上半期においては猛暑で購入から通常1週間以上かかっていたエアコンの取り付けがわずか3日以内で完了する「エアコン取り付け体制」を確立しました。

また、お客様宅までの商品配達および修理などのアフターサービスを一貫して行う体制を、岡山地区で構築しました。「岡山エリアSCデポ」の構築により、納品対応の時間短縮や、即日・翌日・時間指定配達地域の拡大、在庫管理の効率化などのサービス業務レベル向上および改善が図れます。

商品補充・配達工事・出張修理の集約

持込修理品の集中修理センター化



エディオングループでは、商圈規模に応じて出店することで、各地域における圧倒的なシェアの確立と、店舗ブランドの浸透を図り、地域に密着した事業展開を行っています。

EFS事業の展開

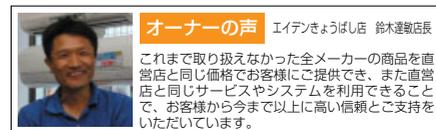
●EFS (エイデン・ファミリー・ショップ)

EFS事業の展開 エディオングループでは、商圈内のコアとなる直営店舗の周りに、5~20坪の売場面積を持つ小型フランチャイズ店舗の展開を行っています。「電器のコンビニ」のコンセプトのもと、消耗品を豊富に取り揃え、地域密着の訪問活動や、高齢者世帯に向けたきめ細やかなサービスを行っています。

デオデオでは既に約550店舗の実績があり、今期から展開を始めたエイデンにおいては、第1号店を2005年6月にオープンしたのを皮切りに、11月末までに13店舗となる予定です。



EFS第5号店
エイデンきょうばし店
(愛知県蒲郡市)



オーナーの声 エイデンきょうばし店 鈴木運雄店長
これまで取り扱えなかった全メーカーの商品を直営店と同じ価格でお客様にご提供でき、また直営店と同じサービスやシステムを利用できることで、お客様から今まで以上に高い信頼とご支持をいただいています。

家電と融合した新規業態

●ホームエキスポ ロックシティ大垣店

2005年7月29日に、「毎日をよりおしゃれに、より快適に、楽しく暮らすためのライフストア」をコンセプトに「ホームエキスポ ロックシティ大垣店」をオープンしました。家電商品からの広がりとして家具、照明器具、キッチン用品、オーダーカーテンなどを幅広く取り揃え、「エイデン大垣ベルプラザ店」の家電商品との相乗効果を生み出しています。今後の大型店舗出店のための先駆的な取り組みとして、重要な店舗となっています。

新しい店舗スタイルとして、女性スタッフの積極採用による女性ならではの視点を採り入れたり、外部の専門インテリアコーディネーターによる暮らしをセンスアップする各種セミナーを開催するなど、サービスの質にもこだわった業態です。



都市型大型店

●ミドリ電化天満橋店

2005年5月27日に大阪の中心地にミドリ電化の都市型大型店「ミドリ電化天満橋店」をオープンしました。既存の品揃えに加え、ターミナルという好立地と2,700坪という超大型店舗にふさわしい商品構成を組み、お客様に納得いただける充実した売場を展開しています。

今後も基盤としている地域において、都市型大型店へのチャレンジを展開してまいります。



株主様ご優待制度のご案内

- 1. 対象となる株主様**
毎年3月31日現在で株式会社エディオンの株主名簿および実質株主名簿に記載の、1単元(100株)以上ご所有の株主様
- 2. ご所有株数と優待券発行枚数**
(1枚200円)
 - 100株以上 15枚
 - 500株以上 25枚
 - 1,000株以上 50枚
 - 2,000株以上 75枚
 - 5,000株以上 125枚
 - 10,000株以上 250枚
- 3. ご利用いただける店舗**
株式会社デオデオ、株式会社エイデン、株式会社ミドリ電化の店舗(子会社、フランチャイズ店舗を含みます)およびインターネットショッピング(エディオンダイレクト <http://shop.edion.jp>)でのご購入にてご利用いただけます。
- 4. ご利用いただける金額**
お買い上げ金額2,000円(税込)ごとに1枚(200円)の優待券がご利用いただけます。
- 5. 優待券の発送時期およびご利用期限**
毎年6月の定時株主総会終了後に発送予定で、ご利用期限は7月1日から翌年6月30日まで(1年間)です。

配当について

エディオンでは継続的な安定配当を重視しておりますが、業績を勘案し、利益還元と株主資本充実のバランスを考慮しながら対応してまいります。

当中間期につきましては、1株当たり10円とし、年間配当は中間期と併せて20円を予定しています。



個人投資家向けイベントを実施しました。

●名証IRエキスポに出展

2005年7月、名古屋証券取引所主催で上場企業100社以上が参加するこのIRイベントに出展し、多くの投資家の皆様から忌憚のないご意見ご要望をお伺いすることができました。



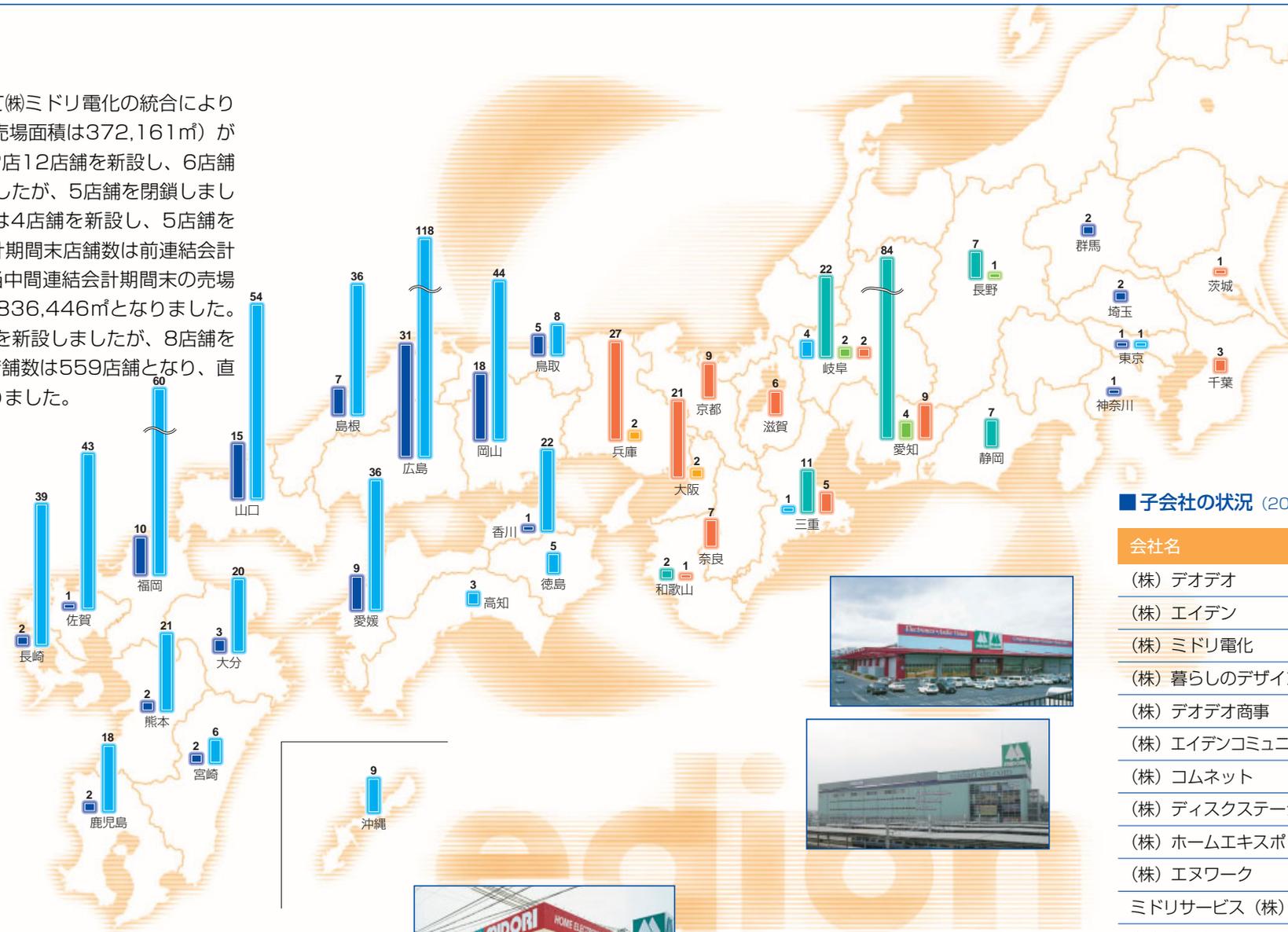
●会社説明会を実施

2005年6月、エディオンで初めての個人投資家様向け会社説明会を名古屋市にて実施し、400名以上の投資家様にご参加くださいました。当社社長から将来展望やビジネス戦略をお話しさせていただき、当社へのご理解をより深めていただけたことと思っています。



■ グループの拡大に向けて

営業店舗につきましては、期首において(株)ミドリ電化の統合によりフランチャイズ店3店舗を含め88店舗（売場面積は372,161㎡）が増加しました。期中においては、家電直営店12店舗を新設し、6店舗を移転、1店舗を建替、8店舗を増床しましたが、5店舗を閉鎖しました。また、その他の直営店につきましては4店舗を新設し、5店舗を閉鎖しました。この結果、当中間連結会計期間末店舗数は前連結会計年度末比91店舗増の338店舗となり、当中間連結会計期間末の売場面積は前連結会計年度末比102.1%増の836,446㎡となりました。フランチャイズ店につきましては29店舗を新設しましたが、8店舗を閉鎖しましたので当中間連結会計期間末店舗数は559店舗となり、直営店をあわせた総店舗数は897店舗となりました。



- デオデオ直営店舗
- デオデオFC店舗
- エイデン直営店舗
- エイデンFC店舗
- ミドリ電化直営店舗
- ミドリ電化FC店舗



■ 子会社の状況 (2005年9月30日現在)

会社名	所在地	主な業務内容
(株) デオデオ	広島市中区	家庭電化商品等の販売
(株) エイデン	名古屋市千種区	家庭電化商品等の販売
(株) ミドリ電化	兵庫県尼崎市	家庭電化商品等の販売
(株) 暮らしのデザイン	東京都品川区	家具・インテリアのカタログ通販事業
(株) デオデオ商事	広島市南区	家庭電化商品等の販売
(株) エイデンコミュニケーションズ	名古屋市千種区	携帯電話等の販売
(株) コムネット	愛知県春日井市	家庭電化商品等の修理および配送設置・工事
(株) ディスクステーション	名古屋市名東区	ビデオソフトレンタルおよびCD・DVDソフト等の販売
(株) ホームエキスポ	名古屋市千種区	ホームセンター商品等の販売
(株) エヌワーク	名古屋市千種区	電算システムの運営および開発
ミドリサービス(株)	兵庫県尼崎市	家庭電化商品等の修理および配送設置・工事
(株) ミドリ	千葉県葛飾区	家庭用電化商品等の販売
エム・イー・ティー特定目的会社	東京都千代田区	資産流動化計画に基づく特定資産の管理

当中間連結会計期間における我が国経済は、IT分野の在庫調整がほぼ終わったことで景気の踊り場局面を抜け出し、好調な設備投資と底堅い個人消費とが相合い、原油価格高騰の長期化などの不安材料はあるものの、総じて緩やかな回復基調で推移しました。また、(株)エイデンが地盤とする中部地方では平成17年3月25日から9月25日まで「愛・地球博」が開催され、大いに地元経済に活気を与えました。

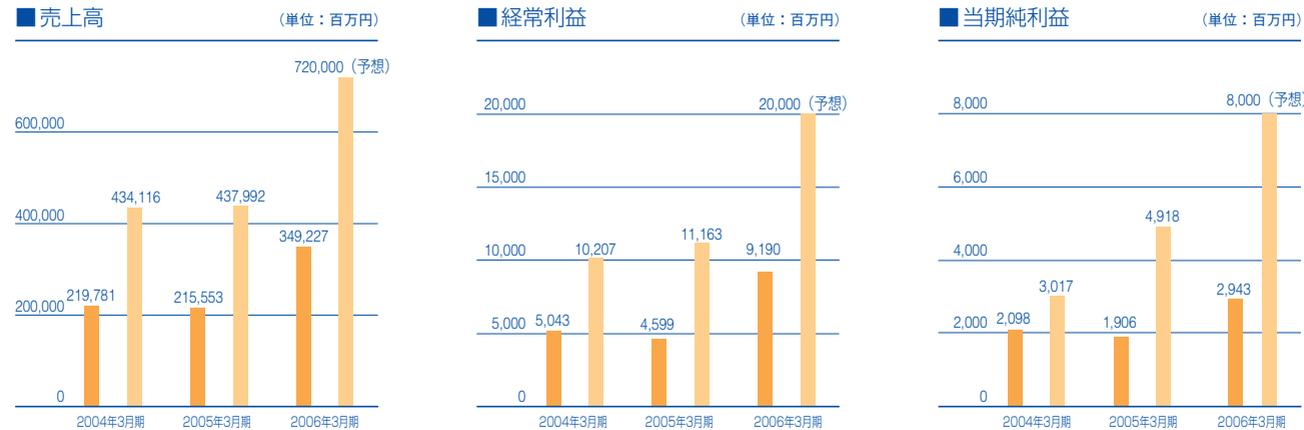
当家電小売業界におきましては個人消費の回復等により、薄型液晶テレビ、デジタル音楽プレーヤーなどの「デジタル家電」と、エアコン、冷蔵庫、洗濯機などの「生活関連商品」が好調に推移したものの、パソコンなど「情報関連商品」は店頭価格下落などの影響を受けて低位で推移しました。

こうした中で当企業グループは、4月には(株)ミドリ電化を株式交換により完全子会社としました。また、5月には子会社4社のショッピングサイトを統合した「エディオンダイレクト (<http://shop.edion.co.jp>)」を開

設し、幅広いアイテムを取り扱う日本最大級のショッピングサイトの運営を開始し、また、都市型大型店として「ミドリ電化天満橋店」をオープンしました。さらに、7月には家具、インテリア、照明器具等の販売を中心とする「ホームエキスポロックシティ大垣店」をオープンし、新規業態の開発にも着手しました。(株)エイデンにおいては、(株)デオデオのノウハウを生かしたフランチャイズ事業の展開を開始し、地域密着のサービスの更なる拡充を図っております。当企業グループはこうした「サービス型小売業」の経営理念を徹底的に追求し続け、大型家電量販店のトップブランドとなることを目指してまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の連結売上高は3,492億27百万円（前年同期比162.0%）、営業利益は29億30百万円（前年同期比237.5%）、経常利益は91億90百万円（前年同期比199.8%）、中間純利益は29億43百万円（前年同期比154.3%）の増収増益となりました。

財務ハイライト（連結）



株式会社デオデオは広島を本拠地とし、大規模直営店舗「パワーストア」と小型フランチャイズ店舗「DFS」を展開するエリア戦略により、地域密着型のきめ細かなサービスを提供しています。

2005年9月末現在、店舗数は662店舗（直営114店舗、フランチャイズ548店舗）を数え、中国・四国・九州地方においてマーケットシェアをますます拡大しています。



株式会社エイデンは名古屋を本拠地とし、総合家電事業「エイデン」、情報通信事業「コンプマート」、ホームセンター事業「ホームエキスポ」の3事業を中心として、お客様のニーズに対応する展開をし、積極的に顧客満足度の向上に努めています。

2005年9月末現在、店舗数は140店舗（直営82店舗、連結子会社51店舗、フランチャイズ7店舗）を数え、中部地区において高いマーケットシェアを獲得しています。



株式会社ミドリ電化は尼崎市に本社を構え、家電・AV機器・家具インテリアをはじめ、玩具・CD/DVDソフト・テレビゲーム等を幅広く取扱い、地域密着型のサービス型小売業として着実に収益を伸ばしています。

2005年9月末現在、店舗数は95店舗（直営91店舗、フランチャイズ4店舗）を数え、近畿地区NO.1シェアを獲得しています。



株式会社暮らしのデザインは東京都品川区に本社を置き、家具インテリアのカタログ情報誌「暮らしのデザイン」をベースとしたダイレクトマーケティング事業を展開しています。

2005年5月にはエディオングループ各社のインターネット通販サイトを統合した「エディオンダイレクト」を稼働するなど、エディオングループのダイレクトマーケティング事業戦略の中核を担います。



■ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第5期中間期 2005.9.30現在	第4期中間期 2004.9.30現在
(資産の部)		
流動資産	120,438	87,964
現金及び預金	8,892	13,541
受取手形及び売掛金	20,428	14,821
たな卸資産	77,545	47,822
その他	13,688	11,897
貸倒引当金	△ 116	△ 117
固定資産	184,339	135,802
有形固定資産	131,173	96,784
建物及び構築物	65,267	40,381
器具及び備品	4,327	4,056
土地	59,401	51,295
その他	2,176	1,050
無形固定資産	9,108	4,491
連結調整勘定	1,261	1,181
その他	7,846	3,310
投資その他の資産	44,057	34,526
差入保証金	30,680	20,632
その他	13,965	14,576
貸倒引当金	△ 587	△ 681
繰延資産	184	228
資産合計	304,962	223,995

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科目	第5期中間期 2005.9.30現在	第4期中間期 2004.9.30現在
(負債の部)		
流動負債	118,806	92,454
支払手形及び買掛金	47,366	25,896
短期借入金	30,495	43,710
一年内返済予定の長期借入金	9,780	4,678
一年内償還予定の社債	240	3,000
賞与引当金	4,020	2,766
ポイント引当金	7,682	3,479
その他	19,220	8,924
固定負債	61,140	35,136
社債	1,160	500
長期借入金	40,733	17,608
再評価に係る繰延税金負債	2,672	2,680
退職給付引当金	7,130	7,608
役員退職慰労引当金	580	562
その他	8,863	6,176
負債合計	179,947	127,591
(少数株主持分)		
少数株主持分	1,074	1,074
(資本の部)		
資本金	10,174	4,147
資本剰余金	83,419	60,883
利益剰余金	46,174	47,219
土地再評価差額金	△ 16,392	△ 16,992
その他有価証券評価差額金	598	261
為替換算調整勘定	—	△ 167
自己株式	△ 34	△ 23
資本合計	123,940	95,329
負債、少数株主持分及び資本合計	304,962	223,995

■ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第5期中間期 2005.4.1~2005.9.30	第4期中間期 2004.4.1~2004.9.30
売上高	349,227	215,553
売上原価	271,570	167,902
売上総利益	77,657	47,650
販売費及び一般管理費	74,726	46,417
営業利益	2,930	1,233
営業外収益	6,910	4,031
仕入割引	5,623	2,714
投資有価証券売却益	124	585
その他	1,162	731
営業外費用	650	665
支払利息	348	286
持分法による投資損失	23	116
貸倒引当金繰入額	2	8
その他	275	254
経常利益	9,190	4,599
特別利益	900	375
投資有価証券売却益	—	237
退職給付規程改訂益	745	—
火災保険金収入	—	118
その他	154	20
特別損失	3,624	1,363
固定資産売却損	33	77
固定資産除却損	642	657
投資有価証券評価損	2	194
減損損失	1,805	—
火災損失	—	180
賃貸借契約解約損	13	187
総合型基金脱退損	848	—
その他	277	63
税金等調整前中間純利益	6,467	3,612
法人税、住民税及び事業税	3,214	1,371
法人税等調整額	259	284
少数株主利益	50	50
中間純利益	2,943	1,906

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	第5期中間期 2005.4.1~2005.9.30	第4期中間期 2004.4.1~2004.9.30
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	66,909	60,736
資本剰余金増加高	16,510	147
株式交換による増加高	16,510	—
自己株式処分差益	0	—
新株予約権の行使による新株の発行	—	147
資本剰余金中間期末残高	83,419	60,883
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	45,102	46,110
利益剰余金増加高	2,943	1,952
中間純利益	2,943	1,906
持分法適用除外による増加高	—	12
土地再評価差額金取崩額	—	32
利益剰余金減少高	1,870	843
配当金	1,056	782
役員賞与	214	61
土地再評価差額金取崩額	599	—
利益剰余金中間期末残高	46,174	47,219
■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)		
(単位：百万円)		
科目	第5期中間期 2005.4.1~2005.9.30	第4期中間期 2004.4.1~2004.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,349	△ 7,475
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,703	△ 1,429
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,160	8,296
現金及び現金同等物の増減額	△ 11,891	△ 608
現金及び現金同等物の期首残高	13,355	13,446
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加高	7,289	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,752	12,838

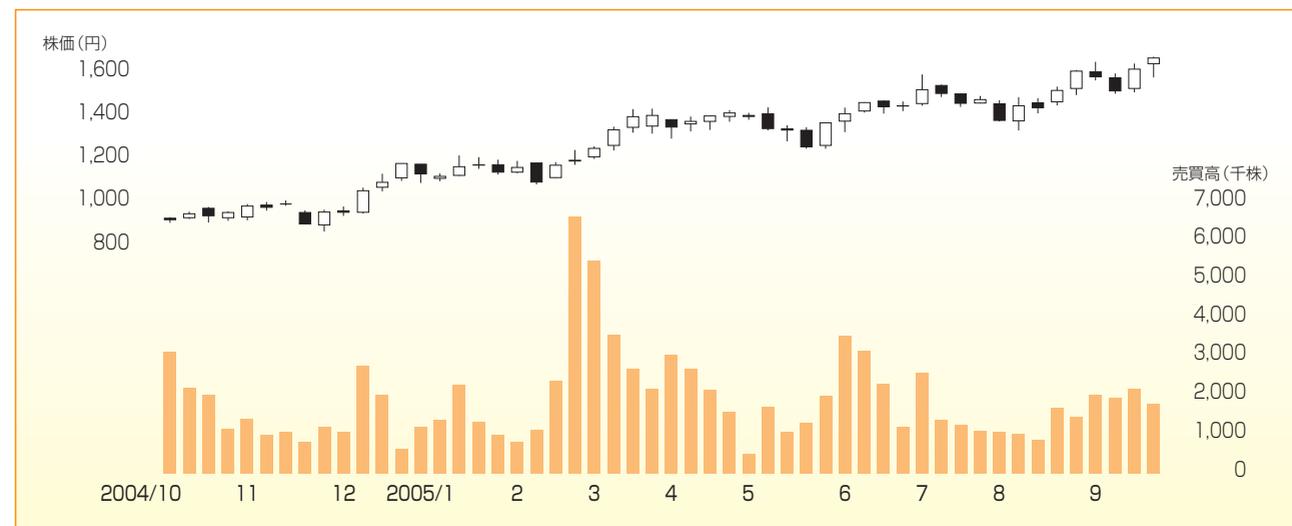
1. 会社が発行する株式の総数 300,000,000株
2. 発行済株式総数、資本金および株主数
- 発行済株式総数 105,665,636株
 - 資本金 101億7,463万円
 - 株主数 15,023名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,802	8.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,813	6.44
興富株式会社	6,000	5.67
株式会社ダイイチ	5,779	5.46
ミドリ会	5,274	4.99
久保允誉	2,434	2.30
安保証	2,250	2.12
エディオングループ社員持株会	1,982	1.87
モルガンスタンレーアンドカンパニーインターナショナルリミテッド	1,807	1.71
ザチースマンハッタンバンクエヌエイロンドンエスエルオムニバスアカウント	1,721	1.62

(注) 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

株価および出来高の推移



■会社概要 (2005年9月30日現在)

- 会社名 株式会社エディオン
EDION Corporation
- 事業内容 家庭電化商品の販売を主として行う完全子会社である株式会社デオデオ、株式会社エイデン、株式会社ミドリ電化および家具・インテリアの通販事業を行う株式会社暮らしのデザインの株式を所有することにより当該子会社の経営管理をする。
- 設立日 2002年3月29日
- 本店所在地 東京都品川区西五反田八丁目9番5号
- 本社事務所 名古屋市中種区覚王山通八丁目70番地の1
- 上場取引所 東京、名古屋証券取引所 市場第一部
- 正社員数 228名(単体)
8,299名(連結)

株主メモ

- 決算期 毎年3月31日
基準日 3月31日
名義書換代理人
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
(同連絡先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
各種手続き用紙のご請求
TEL 0120-244-479 (通話料無料)
ホームページ:
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

■取締役・監査役および部長 (2005年11月30日現在)

- 取締役
代表取締役社長 久保允誉 (株式会社デオデオ取締役会長)
取締役副社長 岡嶋昇一 (株式会社エイデン代表取締役社長)
(管理統括本部長 兼 業態開発本部長)
取締役副社長 梅原正幸 (株式会社ミドリ電化代表取締役社長)
取締役副社長 友則和寿 (株式会社デオデオ代表取締役社長)
(営業統括本部長)
取締役 柳田勉 (株式会社デオデオ常務取締役)
(商品統括本部長)
取締役 藤川誠 (株式会社エイデン常務取締役)
(総務人事部長)
取締役 村田博雄 (株式会社ミドリ電化代表取締役専務)
取締役 外山晋吾 (経営企画室長)
- 監査役
常勤監査役 佐々木正弘 (株式会社エイデン監査役)
監査役 石田勝治 (株式会社デオデオ監査役)
監査役 細田浩司 (株式会社デオデオ監査役)
監査役 異相武憲 (株式会社エイデン監査役)
監査役 沖中隆志 (株式会社ミドリ電化監査役)

(注) 監査役のうち、細田浩司、異相武憲、沖中隆志の3名は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

■部長

- 商品本部長 正長政文
- 中国四国営業本部長 船守精一
- 中部営業本部長 加藤徳寿
- 九州営業本部長 山田誠
- マーケティング本部長 三浦敏雄
- 兼マーケティング部長
- 生活家電商品部長 松田浩二
- 映像家電商品部長 石原克彦
- 情報家電商品部長 乗常久志
- 第一商品政策推進部長 水島弘明
- 第二商品政策推進部長 武内新孝
- カード推進部長 柴田卓男
- 経理部長 麻田祐司
- 中国四国九州店舗開発部長 小幡教
- 中部店舗開発部長 鈴木甲子男
- 兼店装部長
- 人材開発部長 高尾邦彦
- 統合プロジェクト推進部長 賀木孝一
- IR・予算管理部長 船戸明人
- 情報システム部長 渡邊真人
- 内部監査室長 小出隆之